

「テクノリッジ290号」を発行しました

テクノリッジは、和歌山県工業技術センターの技術情報誌として年間4回(5月、8月、11月、2月)、その時々
の情報を関連企業の方々にお知らせする情報誌です。

現在、県内外の産業、商業に関わる企業や団体、約280社に送付しご愛読いただいています。今回発行の290
号では「有機エレクトロニクス」を特集しました。

目次は以下のとおりです。

- ・有機薄膜太陽電池の実用化のための課題
- ・有機EL(エレクトロルミネッセンス)の課題
- ・有機エレクトロニクスにおけるプリントド・エレクトロニクス
- ・有機半導体材料の精製とその課題
- ・封止技術とフレキシブル性を実現することの難しさ

有機エレクトロニクスは次世代エレクトロニクスとして注目され、市場規模は増大すると見込まれています。その
一方で発展途上分野でもあるため、技術とアイデアひとつで新製品を生み出すことが可能です。そこで本号で
は、有機エレクトロニクスになじみがない企業の方にも興味を持って頂けるように有機エレクトロニクスの概要や
要素技術、更に製品化の過程で抱えている課題について説明しています。

※ なお、詳細については下記のURLをご参照ください。

※ なお、詳細については下記のURLをご参照ください。

[▶ 290号はこちら](#)

掲載日付: 2011 年 02 月 25 日